

2月5日（金）

本日は、今週の課題である「教員養成と教員歴（Teacher Education and Teachers' Experience）」についてのリフレクションがZoomを使用して行われ、研修員7名が参加しました。

まず、司会者より本日の流れの確認があり、報告者が2月3日および4日に行われたグループ討議のまとめから5つの論点を共有しました。その5つの論点とは、①教員養成政策 ②政策評価 ③教員という仕事に対する課題 ④教員の事前研修と現職研修 ⑤学び続ける教師になるための教員開発計画、でした。吉田先生から助言を頂きながら、報告者が論点を共有した後、研修員からコメントや質疑があり、議論が落ち着いたところで次の論点へと進みました。研修員からコメントや質疑がなく、議論が一時停止した際には、司会者が指名し参加者が答えていく、といった形で、限られた時間の中で円滑に議論が進められました。研修員は、主に教員の給料や計画を実施するための資金調達の問題および、政策の立案に重点を置いて話し合いましたが、それだけでなく、それら政策を実施する重要性や難しさ、質の高い教員を留保する問題などについて事例や課題も共有しました。

最後に、統括として吉田先生から「より深い議論を行うためには、現状の共有だけでなく、事前に共有された資料から何を感じ、何を学んだかなどを共有し、批判的な視点を持つことが重要ではないか」と提案がありました。

